

Course number		U-LAS06 10007 LJ43					
Course title (and course title in English)		経済学Ⅰ Economics I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, UMEZAWA NAOKI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Fri.3		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
一方で古典派経済学の共有するパラダイムと現代の主流派経済学の共有するそれを対比し、他方でアリストテレス以来経済学の基底に流れる「活動」ないし ” well-being ” をめぐる考察を振り返りつつ、「経済」とはいかなる営みであるのかを問い直します							
[Course objectives]							
「経済」とはいかなる営みであるかを再考することで、現代社会が直面している格差の拡大、環境問題、不確実性の深化といった課題に応えるための経済学的センスを各自が培うことを目指します。							
[Course schedule and contents)]							
以下のような構成で講義を行います。							
Ⅰ 古典派的パラダイムと近代的パラダイムとの対比							
第1回 パラダイム論的アプローチをめぐって							
第2回 古典派的パラダイムの特質							
第3回 近代的パラダイムの特質							
第4回 同上							
第5回 二つのパラダイムの交錯							
第6回 現代社会が直面する課題との関わりでの両パラダイムの対比 環境問題をめぐって							
第7回 現代社会が直面する課題との関わりでの両パラダイムの対比（2） 不確実性をめぐって							
Ⅱ 「活動」ないし well-being をめぐる経済学者たちの所説の検討							
第8回 端緒としてのアリストテレス							
第9回 K.マルクスの労働論							
第10回 J.S.ミルの ” stationary state ” 論							
第11回 A.マーシャルの活動論とA.センの “ capability ” 論							
第12回 K.ポランニーの「経済の実体」論							
第13回 現代社会の諸課題と向き合う「経済」のあり方							
第14回 I,Ⅱを総括して							
第15回 期末試験							
----- Continue to 経済学Ⅰ(2) -----							

経済学Ⅰ(2)

第16回 フィードバック（ただしフィードバック方法は未定）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

定期試験成績に基づき評価を行います。

[Textbooks]

松嶋敦茂他編著『交錯と回帰の経済学』（ミネルヴァ書房）（書名は刊行時に変更の可能性があります。）

講義時にはパワーポイントスライドも併用し、スライドはプリントにて配布します。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

教科書を指定するので、予習・復習に活用してください。

[Other information (office hours, etc.)]